

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、一部の業種で慢性的な人手不足など求人が増加していましたが、年度後半において、コロナ感染の急拡大や燃料費・原材料費の高騰などもあり、求人が減少に転じてきている状況でした。

このような状況の中、求職者に対しては、受付において求職者への最初の声かけの段階で「窓口と一緒に検索しませんか？」と声をかけること、相談窓口における相談の内容を具体的に説明すること、仕事探しで困っていることがあれば相談窓口で相談すること等の声かけにより、職業相談業務の基本である相談窓口への積極的な誘導を図りました。また、情報提供が容易となる求職者マイページの積極的な登録を勧め、オンライン紹介を広く周知して、コロナ禍での窓口以外による紹介も充実させていくことで、ハローワーク利用の絶対数の増加を図りました。

特に雇用対策協定を結んでいる自治体（霧島市・始良市）との共催により、合同企業説明会、出前相談&求人ミニ説明会、マザーズセミナー等を総合支所等で実施しました。

求人者に対しては、求人内容の充実による求人者と求職者のミスマッチを防ぐため、求職者アンケートを集計したデータに基づき、求職者が関心を持つ求人条件等を分析し、求人事業所向けの「応募活性化セミナー」（8月末からはオンライン併用）を年間33回開催しました。事業所から「求人票記入について参考になった」「賃金だけでなく、休日や時間などの待遇の見直しも検討したい」など評価をいただいています。

求人内容を事業所の採用担当者などから気軽に直接話が聞けるよう開催している求人ミニ説明会は、年間122回開催しました。開催場所を令和3年度までは主に2階の事務室奥にある会議室を利用していましたが、より気軽に参加できるように令和4年度から2階の事務室入口手前にあるカウンセリングルームを主に利用するように変更した結果、平均参加者数は令和3年度3.64人でありましたが、令和4年度は5.19人に増加しました。また、事業所からの要望もあり付属施設である始良市ふるさとハローワークにおいても実施して、ハローワーク国分まで行かなくても、求人ミニ説明会に参加できるようになったと求人者・求職者双方から好評を得ています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、幹部だけで情報共有されがちなP D C Aに関する研修を、職業紹介部門・求人事業所援助部門の職員・相談員を対象に実施して、職員・相談員が一丸となって、目標を意識した業務を行うよう組織として共通の認識を持つことを説明しました。

また、職業相談の中で職業訓練に関する相談もあることから、職業訓練の基本的な内容について、職業紹介部門の職員・相談員を対象に研修を実施しました。加えて、障害者雇用についての理解を深めるため、職業紹介部門の職員・相談員を対象に精神障害者雇用トータルサポーターによる精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

合同企業説明会について、これまで年6回行っていましたが、職員の負担軽減と効率化を図るため、合同企業説明会を年4回に縮減して、内容の充実(説明会前の事業主向けセミナーや求職者向けセミナーの開催)を図りました。

交通機関の利便性が悪くハローワークまで来所できない者等(高齢者・子育て中の者)の相談が一定数見込まれ、宿泊業が集中する中山間地域の人材確保対策を主とした出前相談&求人ミニ説明会を開催しました。5月の参加事業所は2社でありましたが、9月以降は参加事業所を増やすこと(最大8社)で、求職者の掘り起こし、マッチングの充実を図りました。

公的職業訓練の受講あっせん件数を増加させるため、7月から「職業訓練(ハロトレ)ミニ説明会」を開催しました。3月までに「職業訓練(ハロトレ)ミニ説明会」(ポリテクセンター鹿児島)を9回(43人参加)実施し、「職業訓練(ハロトレ)ミニ説明会」(訓練校合同)を2回(18人参加)実施しました。また、11月に訓練関係掲示物コーナーの掲示板を刷新してレイアウト変更を行い、求職者がリーフレットを見やすくしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所では、求人・求職活動の有力なツールである求人者・求職者マイページの登録について、求人者マイページにつきましては、集中的な普及強化により求人者マイページの開設はすすみましたが、求人者の来所が減少して、細かい求人内容の確認や充足サービスについての課題がみえてきました。今後、求人ミニ説明会や応募活性化セミナーへの参加勧奨および積極的な事業所訪問を計画するなどの取組を図っていきます。

また、求職者マイページの開設については、令和4年度より、雇用保険課にて離職票発行時に「スマホで手軽に求職登録できます！」といったチラシの配布や、求人情報誌の裏表紙一面にマイページ登録を呼びかける広告を印刷するなどの取組を行いました。また、朝会や回覧等においてもマイページ登録の勧奨について職員・相談員に定期的に周知しており、相談窓口でのマイページ登録勧奨も積極的に行い、徐々に登録率は上がりましたが、求人者マイページと比較するとかなり低い登録率になっています。今後、周知方法や登録方法について検討して、求職者マイページの登録率の向上を図っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響については、前年度と比較して少なくなってきましたが、爆発的に感染拡大が発生するなど、なかなかコロナ以前の状況には戻れない状況でした。求人・求職は前年度よりも増加傾向になりましたが、求職については、新型コロナウイルス感染症の感染を警戒し応募などに慎重な求職者がまだまだ多く見受けられ、紹介件数・就職件数ともに前年度と比較して、減少することになりました。また、求人については、年度後半から燃料費高騰・物価上昇などもあり、景気の先行きが不透明な中、減少傾向にあります。求職者へは窓口での紹介・応募など積極的な求職活動を勧めるとともに、求人者へは、応募活性化セミナーなどを通じて魅力ある求人票作成を勧めるなどして、引き続きマッチングの強化を図っていきます。

令和4年度は、令和5年3月末で閉鎖したハローワーク大口管内の2事業所（被保険者約300人）に対して、自治体や関係機関などと連携して積極的に就職支援を行いました。今後も、大量離職などの情報があつた場合、自治体や関係機関などと連携して積極的な就職支援を実施していきます。

2 特記事項

「オンライン紹介」「オンライン自主応募」については、当所では、現在、あまり利用されていない状況ですが、民間の職業紹介サイトなどでは、オンライン応募が主流となっています。また、新型コロナウイルス感染症が第5類引き下げになり、報道などではあまり取り上げられなくなっていますが、まだまだ感染状況は落ち着きを見せない状況です。このような中、今後、ハローワークにおいてもオンライン紹介などが有用なツールになることは、疑う余地がありません。

しかしながら、オンライン紹介に必要な求職者マイページの登録が進んでいない状況もあります。今後、求職者マイページの登録を含め、オンライン紹介の周知を図っていきます。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結び付い た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑥公的職業訓練修 了3か月後の就職 件数	⑦マザーズハロー ワーク事業におけ る担当者制による 就職支援を受けた 重点支援対象者の 就職率	⑨生涯現役支援窓 口での65歳以上 の就職件数
令和4年度実績	5,779	5,085	1,460	88.3%	95.1%	399	235	94.6%	187
令和4年度目標	6,100	5,458	1,468	90.0%	90.0%	527	180	94.1%	112
目標達成率	94%	93%	99%			75%	130%	100%	166%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率